

一般社団法人つくば青年会議所 2014年度 理事長所信

第32代理事長 對崎 寛

【～はじめに～】

2011年3月の東日本大震災、2012年5月のつくば市竜巻災害、かつて経験したことのない2つの災害が起きた。その時、我々青年会議所メンバーは、我が身を顧みず率先して、被災者の支援活動を行なってきた。これは最近失われつつある「利他の心」では、ないだろうか。「利他の心」とは、自分以外の他人を利することであり、つまりは、自分を律することである。他人を利するためには、まず、自分自身の修練が必要不可欠ではないかと考える。自分があり、家族があり、友人があり、職場があり、地域がある。それら全てを繋げ、自分の周辺の環境を変革するために自分自身を変革していかなければならない。周りの人々が幸せに生きているとき、最も自分自身が幸せになれるのだから。

【～地域活性化～】

私は、こんなにも住み良く、すばらしい街は他には無いと考えております。しかし、茨城県は地域の魅力ランキングで全国第47位となっています。茨城県の魅力向上のためには、私たちの住み暮らす街、つくばの魅力向上は必要不可欠ではないでしょうか。本年度は、新たな地域のたからを発掘し、つくばを全国に、さらに世界へPRして行きたいと考えております。地域活性化のため、そして風評被害打破のための事業として、2012年つくばの食王座決定戦、2013年茨城の食王座決定戦を開催してまいりました。これらの事業を検証し進化させ、地域の魅力を最大限に引き出し、地域愛を醸成し地域からの情報発信を行なってまいります。

【～煌めく会員拡大～】

我々つくばJCは、まだまだ飛躍的に成長できるはずです。去年は、多くのメンバーが卒業されました。その翌年だからこそ、一致団結し、メンバー全員で拡大する必要があります。多くのメンバーが集うことでJC運動の推進力が強化され、私たちの住む地域の「明るい豊かな社会」の実現に向けて精力的かつ持続的な運動が展開されていくことでしょう。メンバーが多ければ多いほどつくばの未来は明るくなるはずです。また、街づくりを行なうことは女性の目線が必ず必要であり、そのためにも、女性メンバーの拡大は急務であると考えます。拡大の手法はたくさんあるはずです。様々な手法を使い、本気で拡大に取り組みます。

【～つくばの街づくり～】

今年で17年目を迎える「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードは、つくば市最大の事業となり、毎年市民の皆様の笑顔が輝くお祭りです。その笑顔を更に輝かせるためには進化した事業を行なう必要があると考えます。関係団体との連絡調整を密に行い、斬新かつ地域住民に根差した事業を行ってまいります。

つくば市のシンボルは何かと考えると、私は筑波山を思い浮かべます。筑波山周辺地域の観光の促進、健康の増進を図ることを目的としたツール・ド・つくば2014も本年度で6度目の開催となります。「自転車の街つくば」ならではの特色を活かし、更に進化した事業となるように取り組んでいきます。環境に優しく、健康増進にも繋がる自転車を交通手段の一つとしてもらえるよう意識啓発を推進していきます。これらの対外継続事業を更に飛躍、発展させるため、意気あふれる人財の育成にも注力してまいります。

冬の風物詩となっている「つくば光の森」も本年度で10周年を迎えます。環境に配慮した光のイルミネーションだけでなく、更に進化した「つくば光の森」を開催し、おもてなしの心を込めて光の文化を発信していきます。これからの「つくば光の森」についても協議してまいります。

【～つくばのひとづくり～】

例年、様々な環境美化運動を展開してまいりましたが、落書き、ポイ捨て、不法投棄など、一向に無くなっておりません。しかし私たちは、子どもたちが安心して暮らせる「煌めくいい街」を目指して、継続して運動していく必要があります。また、つくば市きれいなまちづくり実行委員会と連携し、つくば市で暮らし、活動する人々の環境美化に係る意識啓発を行い、きれいなまちづくりを進めるひとづくりを行う必要があります。

LOM内の繋がりが、最近少し希薄化しているように感じています。人を思いやる気持ち、相手の立場に立って考える心、人の苦境を見て助けないではいけない、損得勘定抜きで人間関係を考える、といった気持ちが強い人、「義理人情に厚い」ひとづくりを行っていきます。また、個人の成長のためにも様々な研修事業も開催してまいります。

次世代を担う青少年の育成は、私たちの責務であると考えます。時代の変化に伴い、利己主義が進んでしまい、自分だけが良ければいいという風潮が膨らんでしまうと日本の誇るべき道徳心が失われてしまいます。自立した存在として子どもたちを育成するためには、青少年期を大人への準備期間として、人格の基礎を築き将来の夢や希望を抱いて自己の可能性を伸展させる時期にするとともに、自らの人生をどのように設計していくかについて考える時期にする必要があります。自己や社会の様々な物事に興味・関心を抱かせ、目標達成に向かって意欲を持たせることが、成長のための原動力となるのであり、特に青少年期には、このような意欲を持って生き生きと充実した生活を送ることが重要だと考えます。

【～つくばの組織づくり～】

つくばJCは、2012年に一般社団法人格を認可いただきました。今後、公益社団法人格に移行する方向性を踏まえて、公益事業比率を維持しながら、財務管理を行なっていく必要があります。

これまでどおり財務運営幹事会議を継続的に開催することにより、常に円滑な組織運営を行っていきます。今年度も引き続き費用対効果、公益性の審査、会計の適正運用を徹底いたします。JC I ASPACの誘致を総会決議しているつくばJCとしては、継続・率先して国際大会に参加協力していく必要があります。今年開催されるJC I ASPAC山形大会でもブースを出展し、つくばの魅力を全力で発信いたします。その他の各種大会、諸会議についても円滑な対応で参加増進に努め、出向者への協力、支援も最大限に行なってまいります。また、ホームページ、SNSやメルマガなどを利用し、正確な情報を敏速に発信し、多くの方に楽しんでいただけるよう工夫を凝らし、広報誌も継続して発行していきます。総会・理事会等を円滑に設営し、会員が精度の高い事業を行うための支援をすることによって、会員と共に進化する強い組織の要となる必要があります。素晴らしい事業を達成させる強い意志を持って頑張ってまいります。

【～結びに～】

出会いがあり、人と人が繋がり、人と地域が繋がり、人脈が生まれる。

この出会いを大切にすることが自分自身を成長させてくれると信じております。

今日一日を無事に過ごせることはそれだけで有り難く、自分は生かされていると思えばこそ、毎日が感謝なのです。

この青年期、共に繋がり、私たちJAYCEEが、光輝く未来あるこのつくばのために行動してまいります。